

## 平成 27 年度 第 227 回教育研究審議会議事要録

**日 時** 平成 27 年 5 月 19 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00  
**場 所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、江本事務局長、  
大平外国語学部長、前田経済学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、  
龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、小野学生部長、  
田村大教務部長、田島入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、  
後藤評価室副室長

**配布資料**

- 1 教育研究審議会からの学長選考会議委員の選出について
- 2-1 欠員補充申請書 (文学部)
- 2-2 欠員補充申請書 (外国語学部)
- 2-3 退職願 (外国語学部)
- 3 名誉教授の称号授与について
- 4-1 Plan2015 について
- 4-2 北九州市立大学 Plan2015
- 5-1 北九州グローバルパイオニア 平成 26 年度取り組み実績等について
- 5-2 スーパーグローバル大学等事業 中間評価結果
- 6 北九州市立大学広報アドバイザーの就任について
- 7 第 10 回スポーツフェスタ (夏季) について

### 第 1 号 学長選考会議委員の選出について

\* 学長選考会議委員の選出について、資料 1 に基づき、投票及び開票を実施。

- 開票の結果、漆原副学長、柳井副学長、龍国際環境工学部長の 3 名が、学長選考会議委員に選出された。委員の任期は、平成 27 年 5 月 19 日から平成 29 年 3 月 31 日までである。

【議長】委員 3 名について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

### 第 2 号 教員の人事について

\* 資料 2-1 のとおり、文学部からの申請に基づき、平成 27 年 3 月 31 日付けで退職した馬場美佳准教授の後任として、日本近代文学担当教員 1 名の欠員補充について提案。

- 馬場准教授には基盤教育センターの基盤教育科目を担当していただいていた。後任者にも引き続き、当該科目の授業提供をお願いしたい。
- そのように調整したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

\* 資料 2-2 のとおり、外国語学部からの申請に基づき、平成 28 年 3 月 31 日付けで定年退職する板谷俊生教授の後任として、中国近現代文学担当教員 1 名の欠員補充について提案。

- 本年度からの社会システム研究科の組織改革を受け、学部長等に専攻長になっていただいている。これに伴う確認事項として、大学院の授業科目を担当する教員の欠員補充を行う場合は、欠員補充申

請書で大学院の担当科目名を明記するよう申し合わせたはずである。本申請書には、板谷教授の大学院の担当科目名が記載されていないが、どのように対応する予定か。

- 採用後の大学院担当教員の資格審査を経なければ判断がつかないため、大学院科目の記載を行わなかった。選考にあたっては、面接時に大学院の科目を担当いただきたい旨、伝える予定である。
- 後任者が大学院の科目を担当できない場合は、中国学科の他の教員で対応するのか。
- 中国学科には、専任教員が9名しかおらず、他の教員で対応するのは難しい。
- 大学院の授業科目の対応について、田村社会システム研究科長と調整のうえ、再度、欠員補充申請を提案してもらいたい。

【議長】大学院の授業科目の対応を調整後、欠員補充を再提案いただくこととしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料2-3のとおり、外国語学部からの申請に基づき、ランバート・クレイグ准教授の平成27年6月30日付けでの割愛退職について提案。

- 年度途中での退職となるが、ランバート准教授が担当している科目は、どのように対応する予定か。
- 既に今年度当初から担当科目は減らしており、補講も含め、6月末までに15回講義を行う予定である。また、ゼミの学生に関しては、他の教員のゼミに移ることで調整しており、支障はない。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 第3号 名誉教授の称号授与について

\* 資料3のとおり、名誉教授の称号授与についての提案。

- 名誉教授授与規程第5条では、他大学等における勤務年数を通算することができると規定されている。数年前に確認したところ、他大学等には短期大学や高等専門学校等が含まれるということであった。一方、国際環境工学部には、国や地方自治体等の研究機関で研究していた経歴を有する教員が多数在籍している。これら研究機関では、教授や准教授等の肩書がない場合もあるため、規程上、当該経歴について通算できない状況であり、今後調整の必要がある。
- 欠員補充申請書においても実務家教員該当の有無を記載している。研究機関での実務経験等、関連する職歴は考慮する必要があるため、平成27年度中に、松尾副学長及び総務課で対象となる職歴や実務年数の換算等について検討していただきたい。

【議長】名誉教授の称号授与の提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 報告

- ① Plan2015について、資料4-1、4-2のとおり報告があった。
- ② 北九州グローバルパイオニア 平成26年度の取り組み実績等について、資料5-1、5-2のとおり報告があった。
- ③ 広報アドバイザーの就任について、資料6のとおり報告があった。
- ④ 第10回スポーツフェスタ（夏季）について、資料7のとおり報告があった。
- ⑤ 次回の審議会を平成27年6月9日（火）に開催する予定である旨、報告があった。